

# 「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業評価シート

平成 年 月 日 教科等名 ( )

1. 授業全体に係る次の各項目について、評価欄の当てはまる数字に○をつけて下さい。

	振り返り項目	評価	メモ欄	評価項目設定の観点	
1	子供は問題解決（課題解決）のために学習していた。	4 3 2 1		探求的な学び	子供の視点
2	子供は学習内容に興味・関心を持ち、見通しをもって学習していた。	4 3 2 1		主体的な学び	
3	子供は他者の影響を受けて、考えが広まったり、深まったりする様子が見られた。	4 3 2 1		対話的な学び	
4	子供は各教科等の目標及び見方・考え方を踏まえた本時のねらいに迫る様子が見られた。	4 3 2 1		深い学び	
5	授業者は自ら問いを見出すよう教材や発問などを工夫した。	4 3 2 1		探求的な学び	授業者の視点
6	授業者は一人ひとりが思考・判断する時間を設けた。	4 3 2 1		主体的な学び	
7	授業者は思考・判断したことを表出する機会を設けた。	4 3 2 1		対話的な学び	
8	授業者は各教科等の目標及び見方・考え方を踏まえた授業を展開し、適切な支援を行った。	4 3 2 1		深い学び	

2. 「主体的・対話的で深い学び」の授業のための工夫・手立ては何ですか。また、その工夫・手立てについて、以下の視点から振り返り、当てはまる数字に○をつけて下さい。

## 工夫した手立て【 】

	振り返り項目	評価	メモ欄
1	工夫・手立てにより知識・技能を習得・活用することができた。	(1~3 いずれかの項目で) 4 3 2 1	
2	工夫・手立てにより対話が促進され、思考を広げ深める場となっていた。		
3	工夫・手立てにより学習効果を自覚し、学習に取り組んでいた。		
4	工夫・手立てによる子供の主体性を重視し、教師の立場は適切だった。	4 3 2 1	
5	工夫・手立てによる子供の変容や反応の想定は十分だった。	4 3 2 1	
6	工夫・手立てによる理解についての評価計画は適切だった。	4 3 2 1	

3. 上記の他に「主体的・対話的で深い学び」を保障する授業のために工夫した取組、配慮した（と思われる）点があれば書いて下さい。